

残留農薬検査(その1)

当所では、横浜市内に流通する農作物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成22年度より農作物当たりの検査項目数を追加し、検査体制を一層強化しています。

今回は、平成24年4月から5月の期間に食品専門監視班より搬入された農作物等の検査結果を報告します。

1 市内産農作物

4月に搬入されたかぶの根、かぶの葉、こまつな、トマト及びほうれんそう(各3検体)、5月に搬入されたキャベツ及びきゅうり(各3検体)の計21検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、かぶの葉1検体、こまつな1検体、トマト1検体、ほうれんそう1検体及びきゅうり2検体から農薬が検出されました。このうち、かぶの葉1検体から基準値(一律基準値0.01ppm)を超えるルフェヌロン^{*}が0.05ppm検出されました。ルフェヌロンはかぶへの使用は認められていないため、誤って使用した、もしくは近隣の農作物に使用したものが飛散して付着した等の可能性が考えられます。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

※農薬の概要については、4ページからの【農薬解説】を参考にしてください。

2 輸入農作物

5月に搬入されたオレンジ、キウイ、レモン(各1検体)及びグレープフルーツ(3検体)の計6検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、オレンジ1検体、グレープフルーツ1検体及びレモン1検体から農薬が検出されました。ただし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(H24年4月～H24年5月)

農作物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農作物						
かぶの根	横浜市	3	0			
かぶの葉	横浜市	3	1	ルフェヌロン	0.05	*0.01
キャベツ	横浜市	3	0			
きゅうり	横浜市	3	1	ホスチアゼート	0.02	0.2
				ホスチアゼート	0.03	0.2
				チアメトキサム	0.03	0.5
こまつな	横浜市	3	1	フルフェノクスロン	0.06	10
トマト	横浜市	3	1	フルバリネート	0.04	0.5
				イミダクロプリド	0.01	2
				ボスカリド	0.22	5
ほうれんそう	横浜市	3	1	トルクロホスメチル	0.02	2.0
				テフルトリン	0.01	0.5
				イミダクロプリド	0.02	15
				フルフェノクスロン	0.07	10
輸入農作物						
オレンジ	アメリカ	1	1	クロルピリホス	0.28	1
キウイ	ニュージーランド [*]	1	0			
グレープフルーツ	アメリカ	3	1	フェンプロパトリン	0.04	5
レモン	アメリカ	1	1	クロルピリホス	0.03	1
				フルジオキシニル	1.8	10

*0.01 : 一律基準値

表2 農薬の検査項目及び検出限界(114項目)

農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)
BHC(α、β、γ及びδの和)	0.005	シハロトリン	0.01	フェニトロチオン	0.01
DDT(DDE、DDD及びDDTの和※)	0.005	シフルトリン	0.01	フェンクロルホス	0.01
EPN	0.01	シペルメトリン	0.01	フェンスルホチオン	0.01
アクリナトリン	0.01	ジメチルピビンホス	0.01	フェンチオン	0.01
アセタミプリド	0.01	ジメトエート	0.01	フェントエート	0.01
アゾキシストロビン	0.01	シメトリン	0.01	フェンバレレート	0.01
アルドリン及びディルドリン	0.005	スルプロホス	0.01	フェンピロキシメート	0.01
イソフェンホス	0.01	ダイアジノン	0.01	フェンプロパトリン	0.01
イソプロカルブ	0.01	チアクロプリド	0.01	ブタクロール	0.01
イプロベンホス	0.01	チアメキサム	0.01	ブタミホス	0.01
イミダクロプリド	0.01	チオベンカルブ	0.01	ブプロフェジン	0.01
インドキサカルブ	0.01	チフルザミド	0.01	フルジオキシニル	0.01
エスプロカルブ	0.01	テトラクロルピビンホス	0.01	フルシトリネート	0.01
エチオン	0.01	テトラコナゾール	0.01	フルトラニル	0.01
エトプロホス	0.005	テトラジホン	0.01	フルバリネート	0.01
エトリムホス	0.01	テブコナゾール	0.01	フルフェノクスロン	0.01
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	テブフェノジド	0.01	プロシミドン	0.01
エンドリン	0.005	テブフェンピラド	0.01	プロチオホス	0.01
オキサミル	0.01	テフルトリン	0.01	プロパホス	0.01
カズサホス	0.01	テフルベンズロン	0.01	プロピザミド	0.01
カフェンストロール	0.01	デルタメトリン及びトラロメトリン	0.01	プロメカルブ	0.01
カルバリル	0.01	テルブホス	0.005	ブromoプロピレート	0.01
クレゾキシムメチル	0.01	トリアジメノール	0.01	ヘキサコナゾール	0.01
クロチアニジン	0.01	トリアジメホン	0.01	ヘキサフルムロン	0.01
クロマフェノジド	0.01	トルクロホスメチル	0.01	ヘプタクロル(エボキシドを含む)	0.005
クロルピリホス	0.01	パラチオン	0.01	ペルメトリン	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	パラチオンメチル	0.01	ペンコナゾール	0.01
クロルフェナピル	0.01	ハルフェンプロックス	0.01	ホサロン	0.01
クロルフェンソン	0.01	ピフェントリン	0.01	ボスカリド	0.01
クロルフェンピビンホス	0.01	ピペロホス	0.01	マラチオン	0.01
クロルプロファム	0.01	ピラクロストロビン	0.01	ミクロブタニル	0.01
クロロクスロン	0.01	ピリダフェンチオン	0.01	メチダチオン	0.01
シアノフェンホス	0.01	ピリブチカルブ	0.01	メキシフェノジド	0.01
シアノホス	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	メトラクロール	0.01
ジオキサベンゾホス	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	メビンホス	0.01
ジクロフェンチオン	0.01	ピリミホスメチル	0.01	リニューロン	0.01
ジクロラン	0.01	ピリメタニル	0.01	リンデン(γ-BHC)	0.002
ジコホール	0.01	フェナリモル	0.01	ルフェヌロン	0.01

※ DDTはp,p'-DDE、p,p'-DDD、o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

平成24年度より、2項目(ピリメタニル、フルフェノクスロン)追加し、1項目(メトリブジン)削除しました。

【農薬解説】

ルフェヌロン

『マッチ』などの商品名で販売されている殺虫剤です。昆虫表皮の主成分であるキチンの生合成を阻害するため、幼虫は正常な脱皮ができず死に至ります。鱗翅目害虫の幼虫、アザミウマ目のチャノメキイロアザミウマの幼虫に対して高い防除効果を示し、効果は長期間持続します。

りんご、キャベツ、はくさい、なす、トマト等多くの農作物に適用があります。

※参考文献

- ・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版
- ・農薬残留分析法研究班、最新農薬の残留分析法(改訂版)

【 検査研究課 微量汚染物担当 】